

ハイリスク薬管理DB

大分類

医療機関システム

調剤薬局システム

中分類

医療用医薬品マスタ

概要

診療報酬上、「特に安全管理が必要な医薬品(ハイリスク薬)」の対象となる医療用医薬品のデータ*

特徴

ハイリスク薬の特定や
ハイリスク薬投与患者の
抽出が可能

該当医薬品の算定対象となる
ハイリスク薬分類を参照可能

* 診療情報提供サービスで公表の「特定薬剤管理指導加算等の算定対象となる薬剤の一覧」に準拠

ハイリスク薬管理DB

ご利用場面

- ハイリスク薬加算の算定対象の特定に
- 患者さんへの重点的な服薬指導に

ハイリスク薬管理DB

ハイリスク薬分類のデータ例

ハイリスク薬分類として以下の12のカテゴリに分類

ハイリスク薬分類	
免疫抑制剤	テオフィリン製剤
抗悪性腫瘍剤	カリウム製剤
不整脈用剤	精神神経用剤
抗てんかん剤	糖尿病用剤
血液凝固阻止剤	膵臓ホルモン剤
ジギタリス製剤	抗HIV薬

- 「特に安全管理が必要な医薬品」として告示されたカテゴリに分類

ハイリスク薬管理DB

ハイリスク薬データのデータ例

医薬品名: セレニカR錠200mg

参考) 添付文書の記載の抜粋
効能・効果

- 各種てんかん(小発作・焦点発作・精神運動発作ならびに混合発作)およびてんかんに伴う性格行動障害(不機嫌・易怒性等)の治療。
- 躁病および躁うつ病の躁状態の治療。
- 片頭痛発作の発症抑制。

ハイリスク薬分類

抗てんかん剤

精神神経用剤

- 該当医薬品の算定対象となるハイリスク薬分類を参照可能

ハイリスク薬管理DB

システム、Web等での表示例

〇〇 〇〇 様
〇月〇日生 〇歳 男
確認日 〇年〇月〇日

薬品名	
メバロチン錠5	1錠
ディオバン錠 80mg	1錠
バイアスピリン錠  100mg	1錠
1×夕食後	30日分

チェック結果の表示例



以下の分類でハイリスク薬です。

ハイリスク薬分類

血液凝固阻止剤

Note: 画像はイメージです。実際とは異なる場合があります。